

平成29年度学校保健統計調査速報

徳島県統計データ課

この調査は、統計法に基づく基幹統計（文部科学省所管）として実施されるものであり、各学校において学校保健安全法により、毎年定期的に行われている健康診断の結果から、児童、生徒及び幼児（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的として、毎年全国一斉に実施されている統計調査である。

なお、この速報の数値は概数であり、後に文部科学省が公表する報告書の数値が確定値となる。

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童等の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

調査の範囲は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）である。

調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（平成29年4月1日現在）までの児童等の一部である。

3 調査事項

- (1) 児童等の発育状態（身長、体重）
- (2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無及び結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無）

4 調査期日及び方法等

- (1) 平成29年4月から6月の間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査した。
- (2) 調査の申告義務者は、調査実施校の長である。
- (3) 調査系統は、次のとおりである。

文部科学大臣 — 県知事 — 調査実施校の長

- (4) 調査は、標本抽出法により行っている。抽出手順は、次のとおりである。
 - ア 学校種別に児童等の数の累積和を求める。
 - イ その累積和を用いて調査実施校を抽出する。
 - ウ 発育状態調査については、抽出された学校から系統抽出により児童等を抽出する。
健康状態調査については、当該年齢の全児童生徒が対象となる。なお、標本抽出の結果得られた調査対象数は、次表のとおりである。

学校種別	調査実施校 (校・園)	発育状態調査		健康状態調査		全児童等数 (人)
		調査対象者 (人)	抽出率 (%)	調査対象者 (人)	抽出率 (%)	
幼稚園	31	1,041	26.3	1,313	33.2	3,956
小学校	57	5,390	15.1	21,681	60.6	35,788
中学校	37	4,296	22.3	13,904	72.3	19,240
高等学校	24	2,160	11.1	15,556	79.8	19,486

※「幼稚園」には幼保連携型認定こども園を含む。以下の各表において同じ。

「幼稚園」の調査対象者は5歳児のみのため、全園児数も5歳児のみの人数としている。

II 調査結果の概要

1 発育状況

(1) 身長

本県における児童等の身長平均値を年齢別にみると表1のとおりである。

全国平均と比較すると、男子は、9歳、10歳、11歳、13歳、15歳、16歳で全国平均を上回り、他の年齢では同じか下回っている。女子は、6歳～8歳で全国平均を上回り、他の年齢では下回っている。

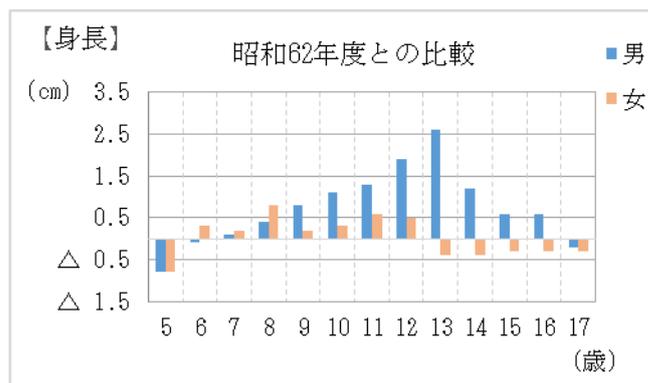
親世代である30年前の昭和62年度と比較すると、男子は、5歳、6歳、17歳を除いた全ての年齢で親世代より増加している。女子は、5歳、13歳～17歳で親世代より減少し、他の年齢では親世代より増加している。男子は13歳で2.6cm、女子は8歳で0.8cmと最も増加している。

表1 年齢別身長の平均値

(単位：cm)

区 分		男 子					女 子				
		平成29年度			昭和62年度		平成29年度			昭和62年度	
		徳島県	全 国		徳 島 県		徳島県	全 国		徳 島 県	
		A	B	A-B	C	A-C	A	B	A-B	C	A-C
幼稚園	5歳	110.0	110.3	△ 0.3	110.8	△ 0.8	109.2	109.3	△ 0.1	110.0	△ 0.8
小 学 校	6歳	116.5	116.5	0.0	116.6	△ 0.1	116.1	115.7	0.4	115.8	0.3
	7歳	122.4	122.5	△ 0.1	122.3	0.1	121.6	121.5	0.1	121.4	0.2
	8歳	128.2	128.2	0.0	127.8	0.4	127.9	127.3	0.6	127.1	0.8
	9歳	133.8	133.5	0.3	133.0	0.8	132.9	133.4	△ 0.5	132.7	0.2
	10歳	139.3	139.0	0.3	138.2	1.1	139.5	140.1	△ 0.6	139.2	0.3
中 学 校	11歳	145.1	145.0	0.1	143.8	1.3	146.4	146.7	△ 0.3	145.8	0.6
	12歳	152.6	152.8	△ 0.2	150.7	1.9	151.7	151.8	△ 0.1	151.2	0.5
	13歳	160.7	160.0	0.7	158.1	2.6	154.2	154.9	△ 0.7	154.6	△ 0.4
高 等 学 校	14歳	165.2	165.3	△ 0.1	164.0	1.2	155.9	156.5	△ 0.6	156.3	△ 0.4
	15歳	168.3	168.2	0.1	167.7	0.6	156.8	157.1	△ 0.3	157.1	△ 0.3
	16歳	170.0	169.9	0.1	169.4	0.6	157.3	157.6	△ 0.3	157.6	△ 0.3
	17歳	170.1	170.6	△ 0.5	170.3	△ 0.2	157.5	157.8	△ 0.3	157.8	△ 0.3

※年齢は各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。



(2) 体重

本県における児童等の体重の平均値を年齢別にみると表2のとおりである。

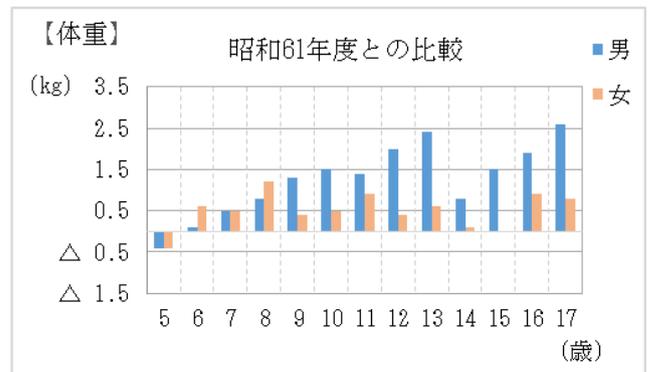
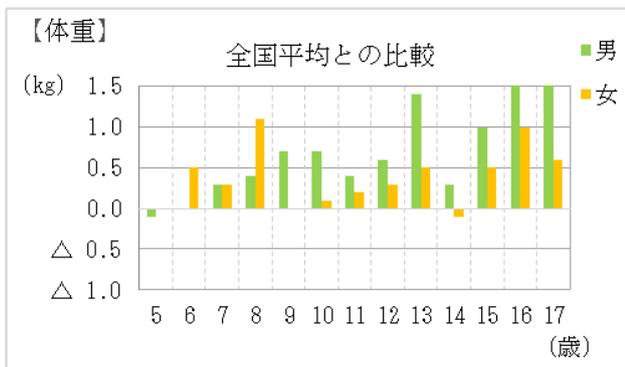
全国平均と比較すると、男子は5歳を除いた全ての年齢で、女子は14歳を除いた全ての年齢で全国平均を同じか上回っている。

親世代である30年前の昭和62年度と比較すると、男子も女子も、5歳を除いた全ての年齢で同じか増加しており、男子は、17歳で2.6kg、女子は、8歳で1.2kgと最も増加している。

表2 年齢別体重の平均値

(単位：kg)

区 分	男 子						女 子				
	平成29年度			昭和62年度			平成29年度			昭和62年度	
	徳島県	全 国		徳 島 県		徳島県	全 国		徳 島 県		
		A	B	A-B	C		A-C	A	B	A-B	C
幼稚園	5歳	18.8	18.9	△ 0.1	19.2	△ 0.4	18.5	18.5	0.0	18.9	△ 0.4
小 学 校	6歳	21.4	21.4	0.0	21.3	0.1	21.5	21.0	0.5	20.9	0.6
	7歳	24.4	24.1	0.3	23.9	0.5	23.8	23.5	0.3	23.3	0.5
	8歳	27.6	27.2	0.4	26.8	0.8	27.5	26.4	1.1	26.3	1.2
	9歳	31.2	30.5	0.7	29.9	1.3	29.9	29.9	0.0	29.5	0.4
	10歳	34.9	34.2	0.7	33.4	1.5	34.1	34.0	0.1	33.6	0.5
	11歳	38.6	38.2	0.4	37.2	1.4	39.2	39.0	0.2	38.3	0.9
中 学 校	12歳	44.6	44.0	0.6	42.6	2.0	43.9	43.6	0.3	43.5	0.4
	13歳	50.4	49.0	1.4	48.0	2.4	47.7	47.2	0.5	47.1	0.6
	14歳	54.2	53.9	0.3	53.4	0.8	49.9	50.0	△ 0.1	49.8	0.1
高 等 学 校	15歳	59.9	58.9	1.0	58.4	1.5	52.1	51.6	0.5	52.1	0.0
	16歳	62.2	60.6	1.6	60.3	1.9	53.6	52.6	1.0	52.7	0.9
	17歳	64.4	62.6	1.8	61.8	2.6	53.6	53.0	0.6	52.8	0.8



(3) 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

本県における肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率は表3のとおりである。

肥満傾向児の出現率は、男子では、6歳を除いた全ての年齢で全国値を上回っており、15歳が、16.72%と最も高く全国で4番目に高い。女子では、16歳の13.18%が最も高い。また、5歳、11歳を除いた全ての年齢で全国値を上回っており、8歳、16歳は全国で1番目に高く、17歳は全国で3番目に高い。

痩身傾向児の出現率は、男子では、15歳が3.95%と最も高く、女子では、12歳が4.9%と最も高くなっている。

表3 年齢別肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

単位(%)

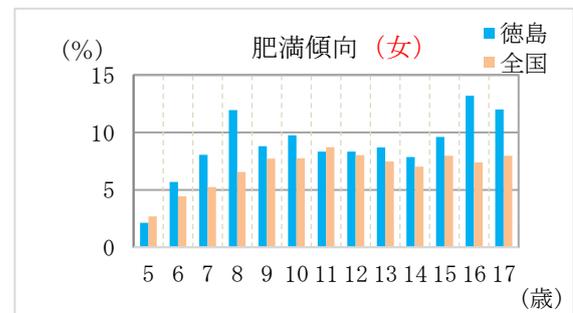
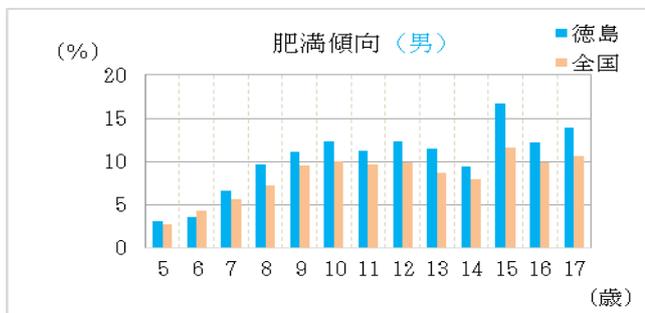
区分		男				女			
		肥満傾向児		痩身傾向児		肥満傾向児		痩身傾向児	
		全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県
幼稚園	5歳	2.78	3.16 (17)	0.33	0.41 (12)	2.67	2.14 (35)	0.29	0.11 (36)
小学校	6歳	4.39	3.62 (35)	0.47	- (-)	4.42	5.68 (11)	0.64	0.58 (23)
	7歳	5.65	6.65 (16)	0.53	0.17 (41)	5.24	8.06 (8)	0.61	1.83 (1)
	8歳	7.24	9.74 (10)	0.95	0.66 (31)	6.55	11.95 (1)	1.07	0.69 (31)
	9歳	9.52	11.17 (13)	1.57	0.50 (47)	7.70	8.80 (12)	1.86	2.66 (5)
	10歳	9.99	12.40 (10)	2.66	2.13 (30)	7.74	9.75 (12)	2.43	1.77 (32)
	11歳	9.69	11.21 (14)	3.27	2.14 (38)	8.72	8.33 (27)	2.52	1.52 (39)
中学校	12歳	9.89	12.33 (12)	2.96	3.18 (8)	8.01	8.33 (25)	4.36	4.90 (11)
	13歳	8.69	11.48 (6)	2.25	1.15 (43)	7.45	8.68 (20)	3.69	2.38 (38)
	14歳	8.04	9.46 (16)	2.05	1.66 (30)	7.01	7.84 (20)	2.74	2.54 (18)
高等学校	15歳	11.57	16.72 (4)	3.00	3.95 (7)	7.96	9.60 (16)	2.24	1.77 (29)
	16歳	9.93	12.29 (13)	2.49	1.81 (32)	7.38	13.18 (1)	1.87	1.57 (31)
	17歳	10.71	13.91 (8)	2.08	1.66 (30)	7.96	12.00 (3)	1.69	1.36 (27)

(注) 1 肥満傾向児とは、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}) / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

2 痩身傾向児とは、肥満度が△20%以下の者である。

3 ()内は、全国における徳島県の順位である。



2 健康状況

(1) 主な疾病・異常等の状況

本県における年齢別の主な各疾病・異常の被患率は表4のとおりである。

また、本県における学校種別主な疾病・異常の被患率順位については表5のとおり、小学校では、「むし歯（う歯）」の者の被患率が最も高くなっており、次いで「裸眼視力1.0未満の者」となっている。中学校、高等学校では、「裸眼視力1.0未満の者」が最も高く、次いで、「むし歯（う歯）」となっている。

表4 年齢別主な疾病・異常の被患率

単位(%)

区分	裸眼視力				眼の疾病・異常	難聴	耳鼻咽喉頭			歯・口腔			栄養状態	アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息
	計	1.0未満	0.7未満	0.3未満			耳疾患	鼻疾・副鼻腔患	口疾腔患咽・喉異頭常	むし歯(う歯)							
		0.7以上	0.3以上	計						処完了置者	未の処あ置る歯者						
幼稚園 5歳	23.3	19.9	2.5	0.8	2.5	…	7.0	6.2	2.9	X	X	X	0.0	0.7	…	1.0	1.6
小 計	31.2	11.0	11.3	8.9	9.0	0.3	6.1	15.9	5.1	51.5	26.6	25.0	1.7	2.5	1.9	1.8	2.8
6歳	20.5	12.2	7.3	1.0	7.6	0.2	6.3	14.8	8.6	44.7	15.3	29.3	0.6	2.2	1.9	1.0	3.0
7歳	21.6	11.2	7.2	3.2	8.9	0.3	9.8	16.6	7.9	50.6	21.4	29.2	1.3	2.0	…	1.1	3.0
8歳	28.7	10.5	11.9	6.3	9.1	0.4	5.2	14.7	3.2	58.9	32.6	26.3	1.8	2.6	…	1.1	2.9
9歳	34.3	10.2	14.0	10.1	8.0	…	3.2	16.3	4.6	57.8	30.7	27.1	1.9	2.6	…	1.7	2.8
10歳	37.9	10.5	13.2	14.1	12.2	0.1	8.7	17.5	3.9	54.4	32.8	21.6	2.1	2.5	…	1.6	2.5
校 11歳	43.5	11.2	13.8	18.5	8.1	…	3.5	15.3	2.6	42.6	26.2	16.5	2.3	2.8	…	4.2	2.4
中 計	53.3	12.9	17.6	22.8	13.0	0.2	2.1	12.3	0.6	43.8	24.8	19.0	1.1	2.2	2.1	4.4	2.4
12歳	47.6	12.4	16.6	18.6	11.0	0.3	4.7	17.6	1.7	40.6	22.8	17.8	0.9	2.5	2.1	4.7	2.3
13歳	55.7	11.1	18.5	26.1	X	…	0.9	X	0.1	43.5	24.2	19.3	1.4	1.9	…	4.8	2.4
校 14歳	56.6	15.2	17.6	23.8	X	0.1	0.7	7.8	-	47.1	27.4	19.8	0.9	2.1	…	3.9	2.4
高 計	68.7	8.0	16.6	44.1	7.0	0.3	1.4	8.5	0.3	53.2	31.4	21.8	5.1	3.6	2.8	2.4	2.9
15歳	68.4	9.1	19.3	40.0	12.0	0.2	3.7	14.3	0.5	48.9	30.7	18.2	4.9	3.9	2.8	3.1	3.5
16歳	66.4	7.4	14.6	44.4	6.6	…	0.3	6.2	0.4	56.0	32.7	23.3	4.6	3.7	…	2.2	3.5
校 17歳	71.3	7.4	16.0	47.9	2.3	0.4	-	5.0	-	54.7	30.7	24.0	5.8	3.3	…	1.8	2.8

(注) 1 この表は、定期健康診断受検者のうち疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者）の占める割合を示したものである。

- 2 「-」 …… 該当者がいない場合
「0.0」 …… 係数が単位未満の場合
「…」 …… 調査対象とならない場合
「X」 …… 疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満又は回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

表5 学校種別主な疾病・異常の被患率

単位(%)

幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
区分	徳島	全国	区分	徳島	全国	区分	徳島	全国	区分	徳島	全国
裸眼視力1.0未満	23.3	24.5	むし歯(う歯)	51.5	47.1	裸眼視力1.0未満	53.3	56.3	裸眼視力1.0未満	68.7	62.3
耳疾患	7.0	2.3	裸眼視力1.0未満	31.2	32.5	むし歯(う歯)	43.8	37.3	むし歯(う歯)	53.2	47.3
鼻・副鼻腔疾患	6.2	2.9	鼻・副鼻腔疾患	15.9	12.9	眼の疾病・異常	13.0	5.7	鼻・副鼻腔疾患	8.5	8.6
歯・口腔 その他の疾病	3.5	2.2	眼の疾病・異常	9.0	5.7	鼻・副鼻腔疾患	12.3	11.3	眼の疾病・異常	7.0	3.5
口腔咽喉頭疾患異常	2.9	1.3	歯・口腔 その他の疾病	8.8	6.8	歯垢の状態	8.2	4.6	栄養状態	5.1	0.7

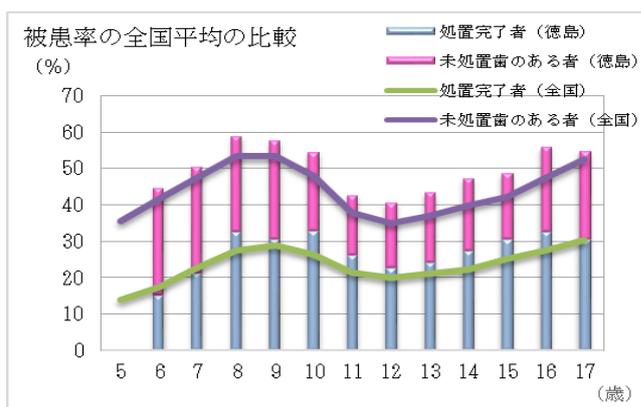
※全国の数値は小数点2位を四捨五入している。

(2) 被患率の全国平均との比較

ア むし歯(う歯)

全ての年齢において、むし歯(う歯)の者の割合(処置完了者を含む。)が、全国平均を上回っている。

(5歳の本県の被患率は非公表)

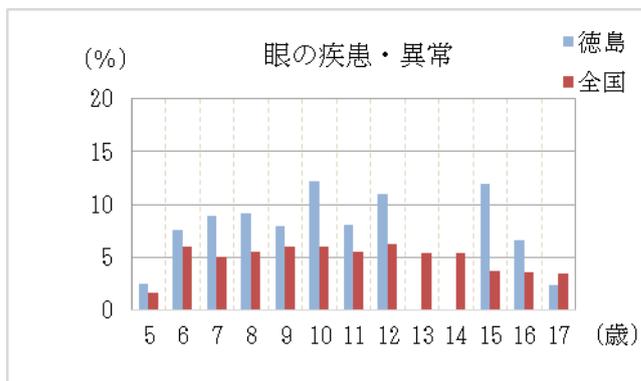


イ 眼の疾病・異常者の数

17歳を除く全ての年齢において、疾病・異常者の割合が全国平均を上回っている。

本県の被患率は、10歳、12歳、15歳で10%以上となっている。

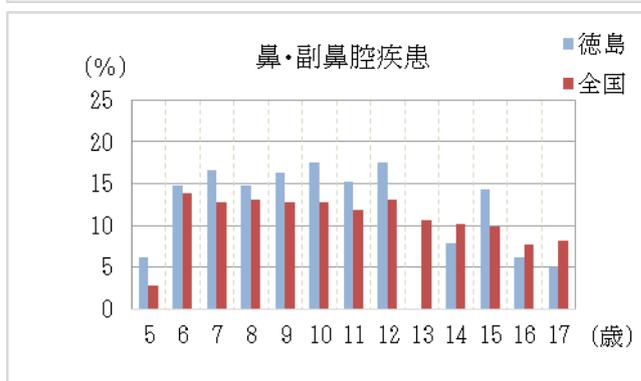
(13歳、14歳の本県の被患率は非公表)



ウ 鼻・副鼻腔疾患者の数

14歳、16歳、17歳を除く全ての年齢で疾患のある者の割合が全国平均を上回っている。本県の被患率は、7歳、9歳、10歳~12歳で15%を上回っている。

(13歳の本県の被患率は非公表)



エ 栄養状態

本県の栄養不良又は肥満傾向で特に注意を要すると判断された者の被患率は、17歳の5.8%が最も大きい。

5歳、6歳、12歳、14歳を除く全ての年齢において全国平均を上回っており、15~17歳では全国平均の6倍以上となっている。

